瓦技術を競う全国大会
永田臣人さんが出場

▲4月25日（水）市長室にて

３月16日（金）、17日（土）、全瓦連技能グランプリ2018九州大会IN福岡が福岡県春日市で開催され、永田臣人さん（株式会社川畑瓦工業）が出場しました。この大会は、瓦の施工の技術を証明するかわらぶき１級技能士の技術と地位向上を目的に開催されているもので、全国より17名の職人が出場しました。永田さんは「１級技能士の資格を取って、更に上を目指すために今回の大会に出場しました。今回出場で全国のレベルを知ることができたので、技術を磨き、もう一度出場したいです」と話されました。

ブリ人工種苗生産施設開所式
輸出拡大に期待

４月24日（火）、柊原地区の鹿児島県種苗生産施設でブリ人工種苗生産施設の開所式が行われました。この施設では、カンパチやヒラメの稚魚の生産を行っており、今回新たにブリの稚魚生産施設が開設されました。エサや生育状況など生産履歴の管理が可能な人工種苗は、海外で需要が高く、輸出拡大が期待されています。当日は、三反園知事、尾脇市長をはじめ約120名が出席し、式典後に施設内の見学も行われました。垂水市は国内でも高いブリの輸出額を誇るため、本格稼動に向けて期待が高まっています。

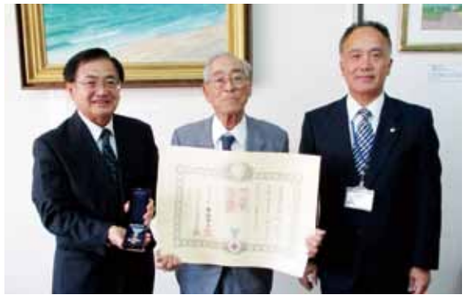
地域で守られる景勝地
江ノ島清掃活動

４月25日（水）、海潟地区の景勝地である江ノ島の清掃活動が行われました。当日は、協和地区公民館、垂水市漁協養殖業者会、協和小PTA等から22人が参加し、海岸のごみ拾いや除草作業を行いました。江ノ島は昔、弁天島と呼ばれていましたが、その景観から現在の鎌倉市の江ノ島に似ているとされ、江ノ島と呼ばれるようになったと言われています。大河ドラマ「西郷どん」のオープニング映像にも登場する江ノ島。地域の人々により景観が守られています。

垂水市漁業協同組合
第18回垂水カンパチ祭

５月３日（木）、４日（金）第18回垂水カンパチ祭が海潟漁港特設会場で開催されました。例年、県内外よりこのイベントを楽しみに多くの人が訪れ、今年は２日間で約15,000人が来場しました。当日は、垂水高校女子生徒４人の鹿児島フィッシュガールのカンパチ解体ショーや大隅初上陸の大阪市堺で活動する海鮮プロレス、恒例のカンパチの掴みどりで会場が盛り上がりました。また、同時開催のドンブリグランプリやカンパチの一本釣り、漁業体験など盛りだくさんの内容で、来場者が楽しみました。

野村至美さん
瑞宝双光章（ずいほうそうこうしょう）を受章



４月27日（金）、春秋叙勲により勲章を授与されていない功労者に対し、年齢が88歳に達した機会に授与される高齢者叙勲の瑞宝双光章が水之上地区在住の野村至美さんに授与され、伝達式が行われました。野村さんは、これまで、学校教育や地域の教育振興に貢献され、その功績が評価され今回受章となりました。地域の教育力向上に尽力されてきた野村さんは「立派な勲記勲章をいただき感無量です。教え子は宝です。今でも人を育てることが大好きです」と話されました。受章おめでとうございます。

子どもの日を祝し
第29回本城川かわ祭り

５月５日（土）、第29回本城川かわ祭りが本城川河川敷で開催されました。これは、子どもの日を祝し、本城川好友会が主催し地元の子どもたちに自然とのふれあいや故郷への良い思い出作りにと行われているものです。メインイベントである鯉のつかみ取り大会では、子どもたちが水しぶきを上げながら、一生懸命に鯉を追いかけていました。また、会場は各家庭から集められた鯉のぼりで彩られ、地元の人々をはじめ、来場者の方々の良い思い出となりました。